

令和7年度食育指導者養成研修 日程表
令和7年10月22日(水)～10月24日(金) リアルタイム・オンライン研修

別紙1

食は人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっている。そのため、心身の健康の基礎を培う重要な時期である小学校や中学校における食育の推進を図っていくことで、子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるようにすることが大切である。食生活の乱れや肥満・痩身傾向等、子供の食に関する課題を解決するためには、学校、家庭、地域が連携して効果的に子供の食に関する自己管理能力の向上を目指すことが重要となる。

本研修では、学校全体で校長のリーダーシップの下に、日々の教育活動、学校の資源を一体的にマネジメントした各学校や地域の実態等に即した、組織的・計画的な食育推進のための方策について学ぶ。さらに、１）子供たちの食に関する諸課題の改善に向けて専門的知見を活用し、組織的・計画的な取組を実施する力、２）地域等において食育を推進する力、を習得した指導者の養成を図る。

8:45	9:15	9:30	10:15	10:25	11:55	12:55	14:25	14:35	16:05	16:15	16:45
1日目	受付	研修ガイダンス	イントロダクション (45) ・研修の目的確認 ・自己課題の明確化 ・「問い」の設定 ・対話による参加者相互理解と自己省察	休憩	第1講(講義・協議 90分) 学校における食育の推進 文部科学省 食育調査官 山上 望 〔目的〕学校における食育の推進に対する考え方や実際に食育を推進するための基本的事項について理解し、これまでの取組を振り返るとともに、組織的・計画的な取組を実施する力を高める。	昼休憩 (60)	第2講(講義・協議 90分) 食育を効果的に推進するためのカリキュラム・マネジメントの進め方 新潟医療福祉大学 健康科学部 森泉 哲也 〔目的〕学習指導要領の趣旨に基づく、食育推進のためのカリキュラム・マネジメントおよび組織マネジメントの基本的な考え方を理解し、これまでの取組を振り返るとともに、組織的・計画的な取組を実施する力を高める。	休憩	第3講(講義・協議 90分) 学校給食を活用した食育の推進とリスクマネジメント 文部科学省 学校給食調査官 齊藤 るみ 〔目的〕学校給食の基本的な考え方や学校給食を活用した食に関する指導について理解を深め、組織的・計画的な取組を実施する力を高める。 学校給食におけるリスク要因について理解を深め、事故の未然防止や適切な対応を組織的に行える力を高める。	休憩	実践につながるリフレクション 諸連絡 (30)

8:45	9:00	9:15	10:05	10:15	11:05	11:15	12:05	13:05	13:55	14:15	14:25	15:55	16:05	16:30
2日目	受付	イントロダクション	第4講(講義 50分) 各教科等における食に関する指導のポイント 【総合的な学習(探究)の時間】 文部科学省 教科調査官 齋藤 博伸 〔目的〕総合的な学習(探究)の時間における食に関する指導のポイントについて理解を深め、これまでの取組を振り返る。	休憩	第5講(講義 50分) 各教科等における食に関する指導のポイント 【特別活動】 文部科学省 教科調査官 和久井 伸彦 〔目的〕特別活動における食に関する指導のポイントについて理解を深め、これまでの取組を振り返る。	休憩	第6講(講義 50分) 各教科等における食に関する指導のポイント 【体育、保健体育】 文部科学省 健康教育調査官 岩田 悟 〔目的〕体育、保健体育における食に関する指導のポイントについて理解を深め、これまでの取組を振り返る。	昼休憩 (60)	第7講(講義 50分) 各教科等における食に関する指導のポイント 【家庭、技術・家庭】 茨城大学 教育学部 石島 恵美子 〔目的〕家庭、技術・家庭の時間における食に関する指導のポイントについて理解を深め、これまでの取組を振り返る。	グループリフレクション ・学びの共有 (20)	休憩	第8講(講義・協議 90分) 個別的な相談指導 神奈川県立 保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科 鈴木 志保子 〔目的〕個別的な相談指導の必要性の高まりと、想定される課題について理解し、これまでの取組を振り返るとともに、組織的・計画的な取組を実施する力を高める。	休憩	実践につながるリフレクション 諸連絡 (25)

8:45	9:00	9:15	11:00	12:00	13:00	13:50	14:50	15:30	15:50	16:20	16:30	
3 日 目	受 付	イ ン ト ロ ダ ク シ ョ ン	第9講（演習・協議 165分）			昼休憩 (60)	第10講（演習・協議 150分）			講 評	実践につな ぐリフレク ション (30) 〔視点〕 ・研修では何 を学んだか ・研修後に何 ができそうか	実 践 に 向 け て
			「学びの活用計画」作成 個人構想①(105) 休憩を含む (進行)教職員支援機構 (助言者) 文部科学省 山上 望 齊藤るみ	活用計画の発表 グループ交流 同校種・同職種 (60)	「学びの活用計画」作成 個人構想②(50) 休憩を含む (進行)教職員支援機構 (助言者) 文部科学省 山上 望 齊藤るみ		活用計画の発表 グループ交流 異校種・異職種 (60)	「学びの活用計画」作成 個人構想③(40) 休憩含む (進行)教職員支援機構 (助言者) 文部科学省 山上 望 齊藤るみ				
			【目的】参加者自身がこの二日間の学びを通して、それぞれの立場でどのように研修内容を活用すべきであるかについて振り返るとともに、具体的に誰に対して、どのような場面でどのような方法で食育の推進に携わっていくべきであるかといった指導者としての資質・能力を養う。	【目的】立案した企画を同校種・同職種のグループ内で参加者同士が発表し合い、意見交換をすることで、より広い視野から知見を深め、食育の指導者としての資質・能力を高める。		【目的】第9講のグループ交流での協議内容をもとに活用計画案をブラッシュアップする活動を通して、自らの考えを振り返り、見直す力を養う。	【目的】異校種・異職種の視点から意見交換をすること で、食育に関する知見を多角 的に深め、食育の指導者とし ての資質および専門的能力を 高める。	【目的】第10講のグループ交流での協議内容をもとに、再度活用計画案をブラッシュアップする活動を通して、見直したり深めたりする力を養う。				